

学校等のエアコン工事入札、3分の1が不調で随意契約に

学校等の普通教室等空調設備設置工事の入札結果

1回目の入札で決定	5件
再入札（2回目）で決定	6件
再再入札（3回目）で決定	4件
入札不調後、最低応札者と随意契約	7件

落札率が55.4%だった春日新田小他1校空調工事入札結果

入札者	記事	入札金額（円）			備考 予定価格 （税抜き・円）
		第1回	第2回	第3回	
(株)イズミ	落札	49,000,000			88,370,000
(株)井上商会	辞退				
(株)関原工業所	辞退				
(株)サトコウ	辞退				
北陸工業(株)	辞退				
(株)セイセツ	参加	58,100,000			
島津工業(株)	参加	90,000,000			
(株)山田商会	参加	91,100,000			
(株)高菱	参加	92,800,000			
頸城水道(株)	参加	100,000,000			

今年の1月下旬から2月にかけて行われた市立小中学校普通教室及び高田幼稚園保育室の空調設備（エアコン）設置工事の入札結果の概要についてお知らせします。入札はいずれも制限付一般入札方式で行われました。これらの工事は全市的に行われることになっていましたが、議会などから出てきた地域業者の要望があり、22の工事に分割して取り組まれました。

22の工事のうち、1回目の入札で決まったものは5件しかなく、その他はいずれも2回ないし3回の入札が行われました。3回目の入札でも予定価格を上回り、不調に終わったケースは7件にものぼりました。これらは再度入札に付すべきだと思っておりますが、いずれも最低額応札者との随意契約で決着が図られました。

落札率（予定価格に対する落札額の割合）が一番低かったのは、春日新田小学校他1校の空調工事です。55.4%でした。工事費については昨年の12月議会ですべて計上され、予算総額は20億4410万円となりましたが、今回の落札金額の合計は税込みで14億8095万円となりました。

これら3校の工事の工期はいずれも3月31日までとなっておりますので、すでに工事は終わり、検査段階に入っているものと思われまます。



傷んでいる道路は速やかに修繕を！

春になって、道路が傷みが目立つようになってきました。

すでに道路パトロールなどで確認されて、修繕されているところがほとんどですが、なかなか進まない所もあります。こうしたなか、通行者から「安全上問題だ。早く手を打ってほしい」という声も上がっています。

写真は路面が下がり、ひび割れができています。写真は路面が下がり、ひび割れができています。写真は路面が下がり、ひび割れができています。



直江津などを舞台に活躍した安塚出身の日本画家・石塚仙堂の筆塚を初めて訪ねました。五智国分寺境内にて15日、撮影しました。



【コシノカンアオイ】ウマノスズクサ科の多年草。漢字で「越しの寒葵」と書きます。花は暗紫というより黒に近い。めずらしい花です。写真の下の方が花です。吉川区町田にて4月16日、撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1906 2019.4.21

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五五四回

サクラ咲かず

インフルエンザが四月になっても終息せず、わが家では、その影響で母がショートシティ（短期入所生活介護）に行き、お世話になってきました。

ショートシティはこれまで、二泊三日の利用でした。今回は五泊六日です。途中で二回ほど様子を見に行ってきたのですが、二回目の時に、母から、「きょうで三日だすけ、迎えに来てくんたがか」と言われました。「なして、そうじゃないよ、風邪がどっかに行かんと帰らんねがどね。もう四日ばか、いてもらわんと……」と言ったところ、「そいがか」とすべわかってくれて安心しました。

幸い、わが家ではインフルエンザは拡大せず、終息に向かったことから、ショートシティに行って六日目の夕方、母を迎えに行くことができました。

施設からわが家までは車で五分です。家に着くまで母は、「ここはオカズミンちだねかな」と言っただぐらいで、あとは黙っていました。

家に着いてすぐトイレに入った母は、用を済ませてから、居間の電動イスに座っておしゃべりを始めました。

夕方の五時半ごろだったのですが、最近日は日が長くなって、外はまだ明るい状態です。そのことが頭に残っていたのでしよう。母は突然、「明るきゃ、ヨモギ採りに行くか」と言いだしたのです。

さっきまで手を引いてもらって、歩いてきたのに「ヨモギ採りどころではありませぬ。」「今度、調子が良いときね」とでも言えば良かったのですが、「なして行かれんね」と言ってしまうました。母は、少しがっかりしたようです。

ヨモギのことから餅のことを連想したのでしよう。餅のこむ話をしました。

「とちや、今度、ヒラサワさんとこから餅、買ってきてくれ。えーと、栗餅だろ、豆餅だろ、それと白餅の三つだな。あつ、ヨモギ餅もだ」

夏冬問わず、日頃から餅が大好きな母です。これには、「いいよ」と応えました。

電動イスに座ったときの母は、実際の体よりも大きく見えます。それと、がっちりしたイスが醸し出す雰囲気なのではないでしょうか、堂々とした感じにも見えます。

めずらしく、頭にかぶる編み物を外していたので、母の白い髪に左手でさわると、髪は硬くぴちっとなまっています。「ばちやの髪、かっこいいな」とほめました。すると母は、「なんだこんやら」と言って笑いました。

私はこの日、まだ仕事が残っていました。外は明るく、行くべきところもあつたのです。立ち上がろうとしたときでした。母が、「ツトムは『サクラ咲く頃、いぐ』そつたがだでも、サクラはまだコメ粒だもんな」と言ったのです。

いうまでもなく、まわりのサクラは満開です。そのことを承知のはずなのに、母はなぜ、「サクラはまだ小粒だ」と言ったのか。私は、稲沢の弟が帰省しない中で、母はサクラの開花を認めなくなつたに違いないと思いました。

その翌日、私は弟のところへ携帯電話をかけ、母と会話ができるようにしました。帰省できないなら、せめて弟の声を母に聞かせてあげたかったからです。弟は五月に帰省するとのことで、ホッとしました。

でも、その後、家の庭に出てびっくりしました。わが家のサクラは、花を咲かせるどころか木が枯れ始めていたのです。このことは弟が帰省した段階で、母に伝えようと思ひます。

しだれ桜見学ツアーやコンサートも

ニュースフラッシュ

吉川区源地区で開催されている「吉川三大しだれ桜」観桜会へ行ってきました。三大しだれ桜のうち、村屋地内にある蘆溪桜（ろけいぎくらの左下の写真）は13日に観せてもらいました。青い空をバックにピンクの花が咲き誇る姿は最高です。この桜の木の所有者の村松さん宅では、この桜見学と合わせて「押し花展」も開催されました。「陰影が立体的で、感動した」「改めて奥が深いなあと実感」などの感想が寄せられていました。

翌日は尾神のしだれ桜を楽しみました。天気がよく、人出はこれまでで最高だったかも。観光協会の役員さんや尾神の懐かしい人たちなどと挨拶を交わし、バイオリン奏者の増井健一さんの演奏を楽しみました。「荒城の月」などおなじみの曲だけでなく、増井さんの作品である「故郷の桜」なども聴きました。素敵な演奏でした。会場では、吉川踊り隊のみなさんも大活躍されていました。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月10日(水)	4月17日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.047	0.043
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.053	0.060
東頸消防署	0.053	0.050
高士分遣所	0.057	0.047
名立分遣所	0.057	0.050